

総務文教常任委員会

委員長 義浩
副委員長 一英
委員 子貫 美智 智子 貫夫 幸高 正
委員 山美 小澤 三野 小
委員 大黒 林 閑野 小

公益的法人等への熊谷市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について

問 派遣先団体に、(一社)埼玉県ラグビーフットボール協会が追加されることとなるが、派遣人数、派遣期間を伺いたい。

答 派遣人数は1人、派遣期間は3年を上限とし、今後協定により決定する。(職員課)

令和2年度熊谷市一般会計予算(消防費・教育費)について

問 防災のまちづくり事業について、前年度に比べて予算が大きく増えているが、事業の概要を伺いたい。

答 令和2年度は主に毛布を購入し、既存分と合わせ、昨年の台風第19号の際に避難された1万1600人の倍の避難者にも対応できるよう備蓄したいと考える。また、小学校同様、全中学校に発電機を設置するとともに、投光器等も設置する内容になっている。(危機管理課)

問 消防設備充実事業において、屈折型はしご付き消防自動車を購入とのことだが、金額、機能の特徴、利点について伺いたい。

答 屈折型はしご付き消防自動車は1台当たり約1億4千万円。はしごが「く」の字型に屈折することにより、電線などの障害物等を回避できるといふ特徴がある。今までの直進型はしご付き消防自動車で架梯(かたて)ができなかった中高層建築物等に架梯ができ、有効な消火活動や救助活動ができるという利点がある。(警防課)

問 「総合戦略」学校給食費第三子以降無償化事業の概要と令和2年度の計画等について伺いたい。

答 本事業は、多子世帯の経済的な負担軽減を目的とし、保護者が納めた学校給食費について申請を基に学校給食費相当額を交付するもの。令和2年度は、実施準備の後、10月以降に学校給食費半年分に相当する額を交付する。対象者数は約450人である。(教育総務課)

環境産業常任委員会

委員長 琢也
副委員長 政幸
委員 昇一 己尋 典
委員 山影 長 健和 広千 佳
委員 沼上 原 浦 川 島 根
委員 栗三 石 中 白

令和2年度熊谷市一般会計予算(衛生費・商工費)について

問 「総合戦略」工業振興事業の委託料および補助金の内訳を伺いたい。

答 委託料については、企業紹介の支援サイトであるチャレンジ・ステージくまがやの管理運営のため、また、補助金については、中小企業の自主的な努力を助長し、市内工業振興を図るためのもので、ものづくり熊谷等に交付する。(商工業振興課)

問 「暑さ対策」外付け日よけアシスト事業の概要と補助率を伺いたい。

答 令和元年度、外付け日よけの設置による室温上昇の抑制に関する実証実験を行い、効果が立証できたため事業化するもので、補助率は対象経費の20%、上限は2万円である。(環境政策課)



外付けの日よけ

令和2年度熊谷市駐車場事業特別会計予算について

問 市営本町駐車場の現状と、今後どのような活用を想定しているかを伺いたい。

答 維持管理経費の増加が見込まれる中、周辺に多くの民間駐車施設があることから、需要を見極め、最小限の経費で運営したいと考える。併せて、中心市街地の違法駐車対策としての必要性が薄れてきたことから、他の施設への転用、集約等も含め検討していく。(商工業振興課)

令和元年度熊谷市一般会計補正予算(県支出金)について

問 農地利用最適化交付金について、委員報酬に充てられるとのことだが、当初予算で予見できないものだったのか伺いたい。

答 委員各位の積極的な活動等により、当初の見込みを大きく上回る額が交付されたため、今回補正予算として計上した。(農業委員会事務局)

市民福祉常任委員会

委員長 理裕
副委員長 鈴木 久保 夫一 淳二
委員 桜井 くるみ 照新 賢
委員 大森 屋 賢
委員 守 小田 中

熊谷市印鑑条例の一部を改正する条例
について

問 法律改正を受けての条例改正だが、この改正により市民サービスにどう影響するのか伺いたい。

答 今回の条例改正は、印鑑登録を受けることができない者のうち、成年被後見人を意思能力を有しない者に改めるもので、成年被後見人を一律に排除する規定から、手続きに必要な能力の有無を判断する規定へ改める。これにより成年被後見人でも法定代理人が同行していれば、窓口で本人の意思を確認後、手続きが取れるようになる。(市民課)

令和2年度熊谷市一般会計予算(民生費)について

問 空き家等対策事業について、令和2年度予算を増額した理由を伺いたい。

答 行政代執行と相続財産管理人選任申し立ての費用のほかに、空き家解消の促進を図るため、解体費用の一部を補助する除却補助制度の開始に伴い、予算を増額し、計上している。(安心安全課)

問 市民協働「熊谷の力」身体障害児の生活調査等事業について、調査の内容と結果をどう生かすのか伺いたい。

答 これまで実情を把握できていなかった身体障害児の成長に伴うケアの課題について、ニーズを把握するための調査を行う。その結果については、市民関係団体、当事者家族等を対象にシンポジウムを開催し、課題の共有を図る機会などを設け、より良い子育て環境の整備につなげる。(障害福祉課)

問 市民協働「熊谷の力」くまっしえ育自サイト開設事業について、子育てサイトを開設することだが、その内容について伺いたい。

答 子どもの月齢ごとの特徴やその悩みの解決方法を掲載したり、QRコードを利用して手遊びやあやし方などの動画の配信などを考えている。また、保育士等の専門的な知識を持った職員や子育て支援員研修等を受講した職員が知識や経験を生かし、サイトの構築相談への対応を行っていく予定である。(子ども課)

都市建設常任委員会

委員長 腰塚 菜穂子
副委員長 山下 一男
委員 田 美 勝
委員 富 信
委員 須 宣
委員 関 延
委員 口 生
委員 権 清

熊谷市営住宅条例の一部を改正する条例について

問 条例の改正後は、入居等の手続きにおいて従来の連帯保証人に代わり、緊急時等に連絡をとることができ

る者を要することとなるが、家賃滞納等の際の債務保証について伺いたい。

答 連帯保証人については債務の保証を求められることとなるが、緊急時等に連絡をとることが出来る者については債務の保証は求めない。(営繕課)

令和2年度熊谷市一般会計予算(土木費)について

問 東武熊谷線跡地道路改良事業の令和2年度整備区間における通学路の状況について伺いたい。

答 通学路として歩道を使用している箇所と、現在の道路を横断している箇所がある。(道路課)

問 地籍調査事業の進捗状況について伺いたい。

答 令和元年度までの実施面積は、89・07平方キロメートルで、進捗率は

62・69%である。(管理課)

問 排水路等維持管理経費の改良工事請負費について、令和2年度の排水路整備工事の予定地域について伺いたい。

答 平戸地区、戸出地区、下恩田・平塚新田地区、三ヶ尻地区、小八林地区、中曽根地区、池上地区、大原三丁目の8カ所を予定している。(河川課)

問 道路ネットワーク検討調査事業の内容について伺いたい。

答 幹線道路の開通に伴う交通の流れを調査するとともに、総合振興計画等に位置付けられている新たな路線整備に伴う将来交通量の推計を予定している。(都市計画課)

令和2年度熊谷市水道事業会計予算について

問 漏水調査委託による年間の漏水発見件数について伺いたい。

答 平成30年度は、配水施設系と給水装置系で合計368件を発見した。(水道課)